

令和2年7月15日

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

東総地区少年野球連盟

【主旨、目的】

新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言解除に伴い休業要請が徐々に解除される中、感染拡大を防ぎながら「新しい生活様式」の実践を模索する毎日が始まりました。

新型コロナウイルス感染状況は一時期より感染者は減少方向にあるものの、まだまだ予断を許さない状況であり、また第2波、第3波が到来する懸念もあり十分に警戒しなければなりません。

東総地区少年野球連盟は以下の感染防止対策ガイドラインを策定し、地域の自粛要請や教育委員会等の活動制限の枠組みなども踏まえ、感染防止対策を講じた上で試合へ臨むことを目的とします。

【原則】

1. 試合を実施する上では、いわゆる3つの密
密閉（換気の悪い空間）、密集（多くの人の密集）、密接（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や大声での発声）を徹底的に回避する。
2. 試合と直接関係のない人の来場を避ける
3. 試合前の検温徹底と移動時の換気や座席配置、空間遮断による濃厚接触の回避。
4. 試合終了後、役員、チーム関係者から感染の有無についてできる限り情報を収集し効果的に検証するよう努める。
5. 開催前後のミーティング等においても3つの密を避ける。

【連盟の対策（試合会場）】

「手洗いの励行」、「咳エチケット」、「マスク持参と必要時の着用（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする歳など）」、「室内の換気」を徹底する。

〈検温〉

大会役員、審判員、大会スタッフなど試合会場へ入場するすべての人は起床時必ず検温を実施し、37.5℃以上は入場できないこととする。

また、発熱がなくても息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ（倦怠感）などが有る場合も入場できないこととする。

〈対策〉

1. 消毒液を 1.3 塁ベンチに設置し、定期的に補充する。
2. 大会役員、大会スタッフはマスク着用とする。
3. ベンチ内が密集になる可能性があるため、横並びに座る、なるべく人と人との距離をとるなどの対策をできる限り講じる。
4. 控えメンバーおよび保護者についての観戦は大声を出さないようにし、拍手での応援を基本とする。
5. アナウンス、BSO は無しで行う。
6. 同じ球場で複数試合を行う場合は、試合ごとにベンチ、手すりなど不特定多数の者が接触する場所を清掃、消毒を行う。
7. 球場内諸室のドアノブ、トイレドアノブなど不特定多数の者が接触する場所は定期的に消毒に努める。

【参加チーム対策】

1. 指導者、記録員、補助員は試合当日起床後、自身で検温し、チーム集合時に別紙検温確認表を作成し、検温確認表を試合会場到着時に大会役員に必ず提出する。
2. 検温の結果 37.5°C以上の者がいた場合大会会場への来場は自粛する。体調がよくない場合も自粛する（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
3. 試合会場には消毒液を設置しているのでこまめに活用し予防に努める。
4. 熱中症予防にも十分配慮することとし、水分補給を行うが、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにする。また、マスクを常時着用すると体力消耗につながるので着用する場所としない場所のメリハリをつける。
5. 飲食については指定場所では行わず、周囲の人とは対面を避け会話を控えめにする。
6. 円陣を組むなどは密集にならないように配慮し、試合中マウンド場で集合する際はグラブを口に当てることとする。
7. 試合中は素手でのハイタッチ・握手を控え、ボールを触った手で目・鼻・口を触らない。